

環境・生物多様性の保全
【R134a再生冷媒ガス】
高純度・低価格



Non-Refillable Cylinder
再充てん禁止容器



再生ガスの品質はJIS規格(純度99.5%以上)に準拠し、新品同等品としてご使用頂けます。

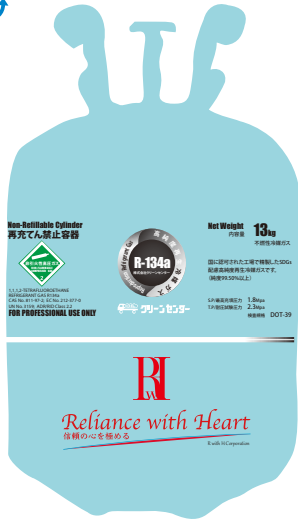
R134a 再生冷媒ガス -NRC

RH-134AR-N

R134a

R134a Reproduction Refrigerant Gas-NRC

再生品



R134a 10kg

再生冷媒ガス
(10kg入)

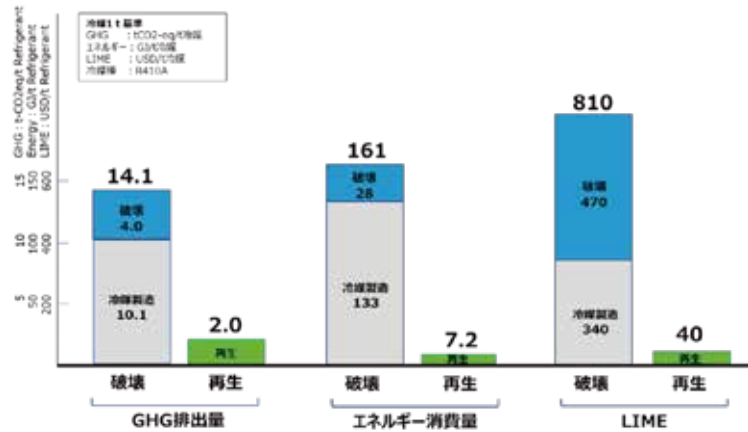
- R134a 再生フルオロカーボン…10kg 入
(総質量…13kg)
- 外径寸法…240 (W) ×440 (H) mm
- バルブ取付口…1/4" フレア (7/16UNF-20)
- ※再充填ができない使い切りタイプのボンベです。
- ※北海道・沖縄・離島は運賃別途。

HFCs (R134a など) の排出量増加が、エネルギー起源 CO₂ の削減効果を相殺してしまっている世界の現状です。新しい代替フロンガス規制 (Regulation(EU) No 517/2014) により、(HFC, PFC 等フッ素を含む温室効果ガス) の排出量を 2030 年までに 3 分の 2 に削減することを目的としています。

その内容：

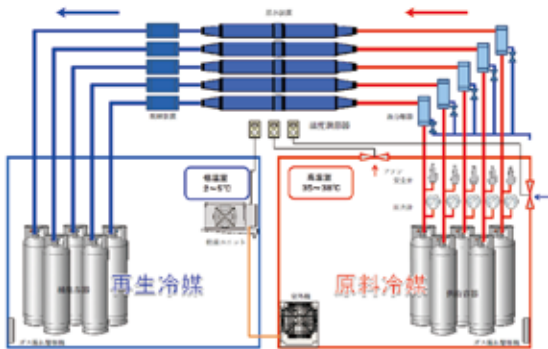
- ・ GWP (地球温暖化係数) の高い F ガスをしようしている製品・機器の市場販売禁止
- ・ 2020 年以降、既存冷却装置のサービス・メンテナンスにおける高 GWP ガス (2500 以上) の使用禁止
- ・ HFC の総量規制と段階的削減
- ・ F ガスの回収、報告義務、研修等

さらに、EU ではカーエアコンに用いられる冷媒に対する規制も設けています。EU では、2017 年より、欧州で上市される全ての新車において、GWP 値が 150 を超える冷媒の使用が禁止されています。これにより、従来カーエアコンに使用されていた冷媒である R134a (GWP:1300) の使用を禁止しました。



ダイキン工業株式会社の冷媒再生に関するライフサイクルアセスメントの実施により、冷媒の種類 (R410A、R32、R134a、R22) や処理地域 (日本、欧州) に関わらず、どの指標においても破壊処理より再生処理の方が低い結果となり、再生処理の方が地球温暖化抑制や資源循環の点から望ましいことが定量的に明らかになりました。

今後も、冷媒の回収・再生率の向上を推進するとともに、安全性、環境性、エネルギー効率、経済性などの総合的な観点から SDGs に配慮した再生冷媒ガス R134a などの使用をおすすめし、地球温暖化抑制と資源循環型社会の実現に貢献していきます。



フロン簡易再生装置の概要

1. 低温室は小型冷蔵ユニットで冷却し、廃熱で高温室の加熱をし、高温室は吸排気ファンにより温度制御。
2. 高温室で暖められた原料容器内のフロンが蒸発。
3. 油分離器により、異物・油分を除去。
4. 脱水装置により水分除去。
5. 脱酸装置により残留酸分を除去。
6. 低温室でフロンは冷却され捕集容器内に凝縮。※原料容器・捕集容器は、100. 容器 × 5 本を使用

再生冷媒ガス規格

再生冷媒ガス	R134a	R22	R404a	R410a
外観		無色で濁りがないこと		
臭気		異臭がないこと		
純度 (面積%)		99.5以上		
蒸発残分 (wt%)		0.01以下		
酸分 (wt%)		0.0001以下		
水分 (ppm)		20以下		

NRC 空容器の回収について

引取りのご依頼を下記の会社にご連絡ください。
株式会社クリーンセンター殿
TEL:072-976-1671 FAX:072-976-1674

NRC 空容器の回収後、容器の内残存ガスを確認し、必要に応じて回収及び再生処理を行います。
空となった容器を分解し、それぞれ資源として産業廃棄物処理を行います。